

# プロジェクトY

## —ホタルの自然繁殖を目指して—

代表者 萩野詩季（共獣B 4年）  
構成員 正木陽登（農学B 4年） 豊田実歩（教育B 3年） 南里康隆（農学B 3年）  
牧野友樹（理学B 3年） 竹本眞規（人文B 3年）  
岡崎花菜（共獣B 3年）

### 1. プロジェクト概要

当プロジェクトは3年計画で進めます。今年はその2年目です。昨年度はホタル、ビオトープについて、正しい知識を身に付ける、地域との情報交換を行いました。そして1年目の成果として、ホタルの飼育マニュアル、ビオトープ管理マニュアルを作成しました。

今年度は昨年度学んだことを生かし、今持つホタル飼育部屋をより良い施設へと整備します。また、マニュアルの見直しを行い、再度作成を行います。また、データのまとめ方法についても再度検討し、次年度より無理なくホタル保護活動が続けられるようにします。

### 2. 目的

- ①山口大学を含む平川地域を、ホタルの飛び交う環境にする
- ②無理なく環境保全活動が行える仕組みづくりを作る
- ①に関してはホタルの飛翔数の増加を、②に関しては地域と協力しながら誰もが行える循環性を持つ環境保全活動を意味します。

### 3. 活動内容

7月までに備品を揃えホタル飼育活動を行う予定でしたが、予算の関係で揃えることが出来なかつた為、10月以降に揃えメンバーで試行錯誤しながら来年度の活動に備える予定です。

今後の予定の変更について

10月：必要物の確認

11月：水質検査の実施、採卵飼育箱（写真1）の作成、マニュアルの検討

12月：清掃用備品の完備

1月、2月：パンフレット作成

3月：マニュアルの完成、配布



写真1 採卵飼育箱